



も と は し つ う し ん

本橋通信

第52号
2024年12月

本橋Fαオフィス 電話:090-7909-2111/メール:rmotohashi0419@gmail.com

★★★この本橋通信は、私とご縁のあった方に差し上げている個人通信です★★★

世の中、いろいろな「壁」があるけれど…

皆さまこんにちは。本橋通信第52号をお届けいたします。今月もどうぞ最後までお付き合いください。世界で様々な「壁や境界(きょうかい)」が、物議を醸し出した2024年も残り僅かとなって来ました。日本での「103万円の壁」、トランプ氏が次期大統領となる米国では、「赤(共和党)と青(民主党)の分断」や貧富の差・募る不満による「格差社会」が一層明確となり、女性初か…と期待されたKハリス氏が阻まれたのは目には見えないガラスの「天井」だったのかもしれませんが。そして今後、米国との「国境」を挟んだグローバルビジネスでは関税や、これまで経済の活力を支えてきた移民問題も焦点となってくるでしょう。

私も仕事の「壁」問題は切実であります。実は11月中旬をもって、所属するIFA会社で拠点集約があり、暫く出入りしていた新宿の事務所が無く(泣く)なってしまいました…。基本はPC&電話があれば、どこでもリモートワークで仕事は完結できるのですが、面談前に資料の準備、お客さま情報や取引内容を確認したり、時にはご注文を受けたり…と、シェアオフィスのようなオープンスペースでは厳しいなあ〜と私にとって心理的な「壁」です。しかし、本気で探せば何でもあるのが、便利な現代の日本社会です。キレイで大きなビルの一画に電話ボックスみたいな個室ブースやら、外見はペンシルの雑居ビルでも、フロア毎に〇人用とちゃんと仕切られた小さな仕事基地あり。WEB会議や電話も可、しかもモニターまで付いてます。



事前予約・決済から入口のセキュリティまで全てスマホだけ、勿論、壁・天井アリ、扉は施錠も可、おまけに全国の拠点利用可とのこと。「壁」にぶち当たったオジサンに、現代のシェアエコノミー、IT駆使した無人化・省力化、キャッシュレス決済が解決策をくれました！

MFAO(Motohashi Financial Advisors Office)の本棚より

今月は、『転換の時代を生き抜く 投資の教科書』後藤達也著(日経BP)のご紹介です。後藤さんは元日経新聞の記者さんから独立された経済ジャーナリストです。主にXやYouTube等、SNSを舞台に活躍中で、テレ東のWBS(金曜夜)でも、シャープな切り口で人気のコメンテーターです。

第一章:投資が欠かせない時代に入った…停滞した日本経済が変わりそう、円安インフレですべきこと、なる早の投資経験は生涯の資産形成の武器、投資の世界を知る=社会を生きる教養・センス。

第二章:株・会社・決算そもそも…会社の価値をレストランで。ビジネスに関わるなら決算書はざっくり整理で、いろいろある利益でも「営業利益」が大事(これは企業の本業ですので…)。第三章:株価は何で動くのか… 株価を近い距離でじっくりといろんな角度からの「虫の目」、空から全体俯瞰の「鳥の目」、そして水の流れや潮の流れを読む「魚の目」と、多様な視点を提供へ

第4章:中央銀行は金融市場の要…注目が高まる中央銀行の動きと役割を考察し、最後:投資をはじめようでは、基本のマインドセットと自分の投資軸を…との示唆。少々厚いのでウェ〜と思うかもしれませんが、流石は伝えるプロ後藤さん。「お金の世界をできるだけ簡単に案内します」と表紙裏の言葉通り、語り口調でポイントを正確に押さえてあり、経済の仕組み、投資の基本や大局観がしっかりと身につくような内容。投資家やビジネスパーソンだけでなく、一般生活者でもある皆さんが毎日起きているムツカシイ経済活動を、誰もが理解できるように簡単に伝えてくれるこの本、基本を学べる「教科書」でもあり、知識を深める「強化書」でもあります。



✍️ IFA (Independent Financial Advisor) 本橋の視点より ✍️

共同通信社さま経由にて、各地方新聞紙面「ライフセミナー」欄に掲載コラム:「プライベートアセット」って何？
昨今、対面型の大手証券会社からのご提案がとても多くなっている印象です。超名門の外資系投資ファンドによる組成・運用…等々、目論見書には魅力と特別感が満載！でもコレ、「誰にとってのビジネス」なのかなあ…

Q. 最近、話題のプライベート・アセットって何ですか？

A. プライベート・アセットとは、上場株式や国債・社債等の市場で公開されている所謂「伝統的資産」とは対極にある「未公開の資産」です。主なプライベート・アセットとして、未公開株(プライベート・エクイティ)、投資ファンドによる企業向け融資(プライベート・デッド)といった金融資産系、不動産やインフラ施設といった実物資産系があります。

最近では、日本の大手証券会社でも、プライベート・アセット関連の投資商品のご提案も多くなってきました。そのセールスポイントは…市場環境が悪くても安定的なリターンが期待できる、伝統的資産との値動きの連動性が低く分散投資効果がある点が魅力ですよとのことですが…。未公開の資産であるが故に、すぐに資金化ができない(流動性が低い)、最低投資単位が数百万円程度と比較的大きい、高度な運用ノウハウやリスク管理を要するため管理報酬は高めに設定される等々、考慮すべき留意点もあります。



元々は大学・年金基金等の機関投資家や個人の富裕層顧客が、ポートフォリオ運用の分散先の一つとして取り組む閉じられた資産でした。こうした希少な投資商品へのアクセスの広がり、リスク・リターンやコスト感覚など「違いが判る」スマート投資家にレベルアップするチャンスであると同時に、高度で複雑、でも格別な投資先が本当に自分に合った投資先か否かを判断することは、もっと大切な投資観です。(独立系ファイナンシャルアドバイザー 本橋竜一)

◆編集後記◆

便利そう…だけど、アブナイ乗り物

車もヒトも異常な多さの都内では、最近、車でも自転車でもない乗り物が急増しています。それは電動キックボードや自転車です。ちょっと移動にとっても便利かつお洒落でコンパクト！でもルールを守らないと電ジャラスキックボードになりかねません…。猛暑続きだった今夏、コレ使えば、汗だくにならず移動が楽かなあと、一瞬思ったのですが、丸の内待ち合わせした知人の姿(スーツにリュック&ヘルメット)に興ざめし、今のところ遠慮しています。



◆今後本通信をご希望されない方は、お手数ですがお知らせ下さいますようお願い致します◆

【発行者プロフィール】

本橋 竜一(もとはし りゅういち)、1974年4月19日生まれ。東京郊外八王子の高尾在住。早稲田大学卒業後、横浜銀行で金融マンとして社会人をスタートしました。その後、国内(あおぞら銀行、みずほFG、三菱UFJ)、外資系(スイスUBS)金融機関にて、約15年間に渡ってプライベートバンキング(ご資産家のお客さま専用金融サービス)を経験し、ファイナンシャルアドバイザーとして独立開業。家族は妻、娘、息子の4人。



趣味はエンジョイゴルフ(スコア3桁でも緑の芝で気分爽快！)と読書(ジャンル無差別:乱読・積読?)

お客さまに対する想い:人生に専属のファイナンシャルアドバイザーがいる安心感を提供したい…

本橋FαオフィスWEBサイトは と検索! <https://www.pfa-withyourlife.jp/>

皆さまからのご感想・ご要望をどんどんお寄せください。

➡ 本橋携帯:090-7909-2111 メール:information@pfa-withyourlife.jp